

# 新・こどもと健康

No.13

2018.2.1

## 年長さん、MR(麻疹風疹)ワクチンはお済みですか？

MRワクチンの2期は5歳～7歳未満の小学校就学前の1年間です。  
まだ接種されておられない方は3月31日(土)までに完了してください。  
※小学校入学式までに、ではありませんので、ご注意ください。

## 堺市在住の65歳以上の方のインフルエンザワクチンの 自己負担1,500円の制度が3月31日まで延長されました。

### 《高齢者インフルエンザ予防接種事業の救済措置》

インフルエンザワクチンの製造が大幅に遅れたことを受けて、まだ受けておられない方のために、堺市は、堺市在住の方のインフルエンザワクチンの自己負担1,500円の制度を3月31日(土)まで延長しました。

ただし、定期接種ではなく、任意接種の扱いになります(何か重い副反応があった場合の補償が定期接種と任意接種では違いがあります)。また、1月31日までに65歳になっていないと対象になりませんので、ご注意ください。当科ではワクチンの在庫がありますので、まだの方がおられましたら、どうぞ。

## インフルエンザ大流行中

国立感染症研究所感染症情報センターの集計によると、インフルエンザで受診した患者さんの推計は2017年12月4日から10日までの1週間に約20万人、12月11日から17日に約35万人、12月18日から24日に約66万人、25日から31日に約101万人、2018年1月1日から7日に約124万人、1月8日から14日に約171万人、1月15日から21日に約283万人となっています。

1月15日から21日の全国5千の定点医療機関当たりの報告数(1週間に一つの診療所などでインフルエンザと診断された患者さんの人数)は51.93となり、統計を取り始めた1999年以降で過去最多となりました。同じ期間の大阪府では44.17で、過去5年で最多水準でした。

12月と1月の大阪府内のインフルエンザウイルスの検出状況ではAH1pdm09(2009年にブタ・新型インフルエンザと言っていたA型の株)が42%、B型が42%、残りの16%がAH3(いわゆるA香港)となっています。例年だとA型がまず流行って、B型があとから流行り始めるパターンが多かったのですが、今シーズンではA型とB型がほぼ同時に、かつ例年より早く流行しています。

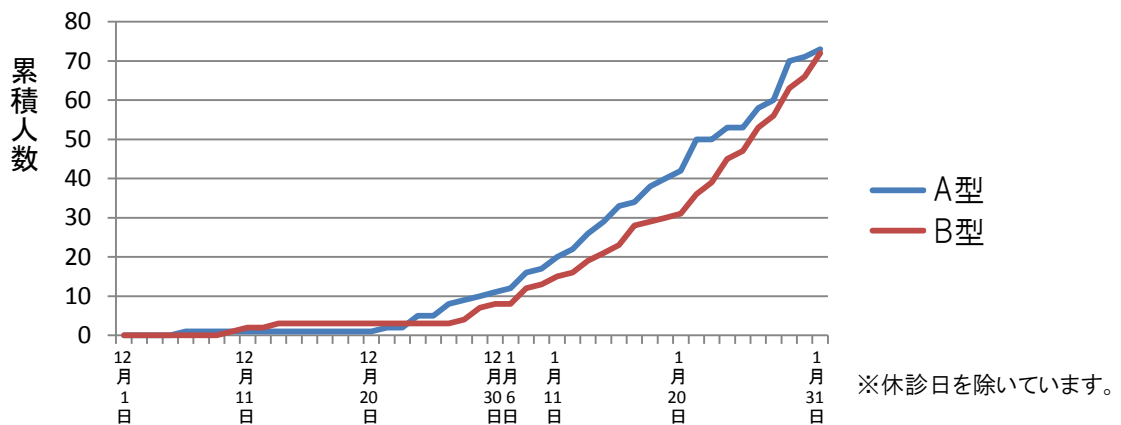
①インフルエンザワクチンの製造が遅れた→②接種の開始時期が遅れた→③予約がなかなか取れなかった→④(ワクチンは製造はされたけど)年を越したらもういいという人が多くなった→⑤全体として接種率が低かった、というのが原因ではないでしょうか？インフルエンザワクチン自体、一人一人で見ると、打っても感染そのものを防ぐ力はそれほど強くないのですが(※重症化を防ぐ力は強くなります)、沢山の人がワクチンを打つと、社会全体としてはおおきな防波堤になるということがわかっています(間接予防効果、集団免疫といいます)。

(厚生労働省 インフルエンザに関する報道発表資料

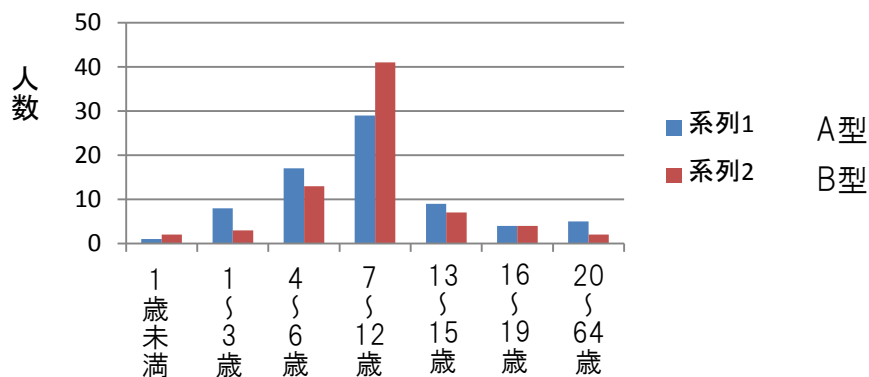
[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html))

(大阪府感染症発生動向調査週報 <http://www.iph.pref.osaka.jp/infection/surv18/topics03.pdf>)

## 当科でのインフルエンザA型、B型別の流行状況について



2017年12月1日以降の、休診日を除いた、当科でのインフルエンザA型とB型別の累積人数です。12月20日頃からA型が、年末近くからB型が増加していき、1月31日時点でA型の累積が73名、B型の累積が72名となっています。B型がA型を逆転しそうです。



当科のA型73名、B型72名の年齢別分布です。この分類の中では、A型、B型とも7～12歳が最も多くなっていますが、6学年分としてもB型の7～12歳が突出しています。

2月・担当医の変更

なし